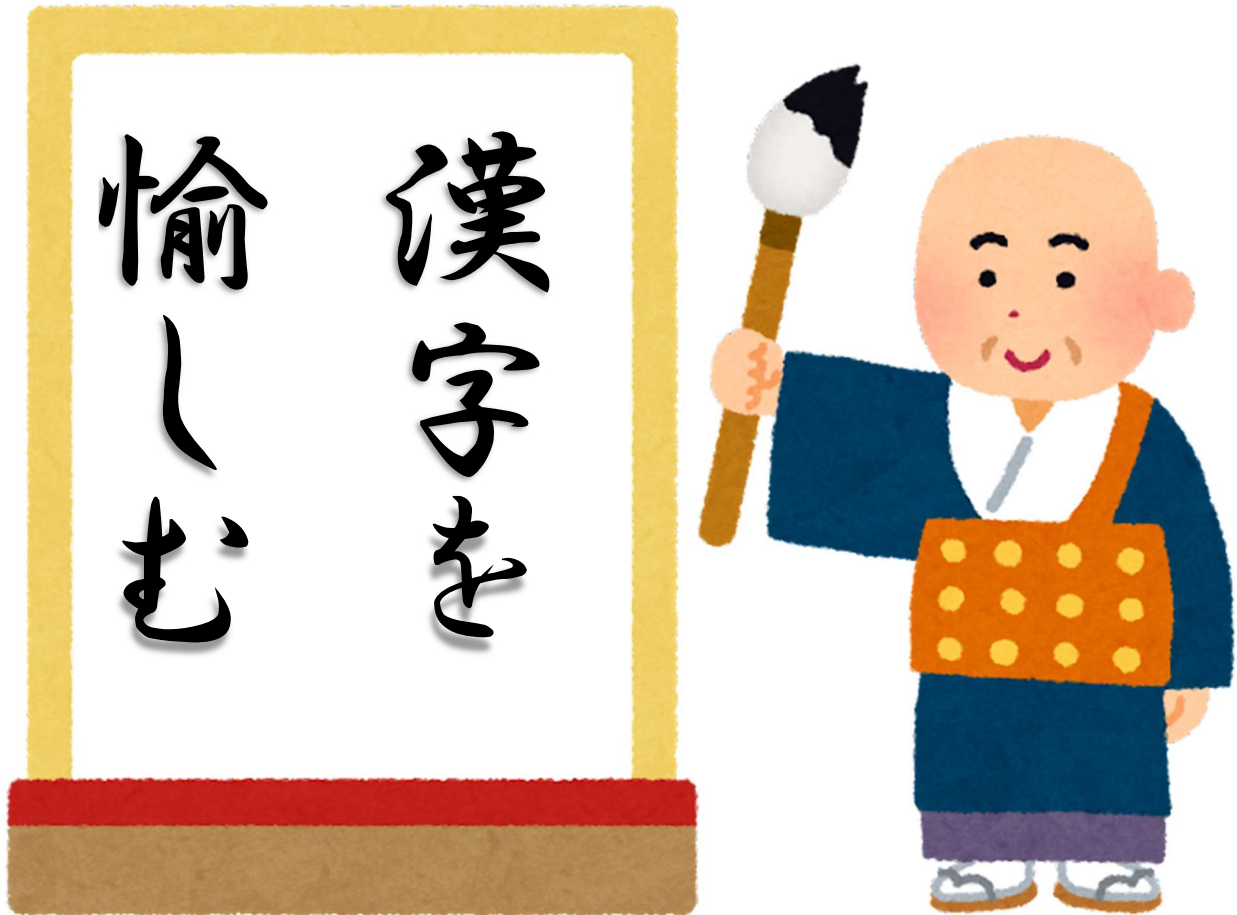




3000 年前の中国王朝・殷の「甲骨文字」が漢字として確認できる最古の文字とされ、日本だけでなく、他の地域でも派生していきました。

今回は、歴史、文化や難読文字、熟語など漢字をいろいろな方向から楽しむ本を集めました。

編集・発行
さいたま市立中央図書館
令和5年10月

文字・漢字の歴史

✎ 「文字とことばー文字文化の始まりー」

吉村武彦／他編 岩波書店 2020 年

✎ 「図説文字の起源と歴史」

アンドルー・ロビンソン／著 片山陽子／訳 創元社 2006 年

✎ 「図説アジア文字入門」

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所／編

河出書房新社 2005 年

✎ 「ことばでたどる日本の歴史」

今野真二／著 河出書房新社 2018 年

✎ 「図説日本の文字」

今野真二／著 河出書房新社 2017 年



貨幣に刻まれた漢字、中世の漢和辞書、現代の高速道路の文字や海外で印刷された漢字など活字の書かれ方、デザインを楽しむ。

✎ 「日本の漢字 1600 年の歴史」

沖森卓也／著 ベレ出版 2011 年

日本へ漢字が伝来し、本格的に使用されたのは 4 世紀末から 5 世紀初めごろとされる。以来、漢字が大衆化されるまでの日本や東アジアの歴史、文化へどのようなかかわりがあったかを解き明かす。

✎「漢字の歴史ー古くて新しい文字の話ー」

笹原宏之／著 筑摩書房 2014 年

✎「漢字からみた日本語の歴史」

今野真二／著 筑摩書房 2013 年



漢字のなりたち

✎「漢字の成り立ち図解」 落合淳思／著 人文書院 2022 年

✎「絵で読む漢字のなりたち」

金子都美絵／作 白川静／文字解説

太郎次郎社エディタス 2010 年

✎「旧字源ー旧漢字でわかる漢字のなりたちー」

青木逸平／著 瀬谷出版 2018 年

新字体の誕生により、漢字の字源をたどれなくなってしまった現在。旧字体の漢字が示す漢字の成り立ちについて解説した 1 冊。

✎「漢字の字形ー甲骨文字から篆書、楷書へー」

落合淳思／著 中央公論新社 2019 年

✎「謎の漢字ー由来と変遷を調べてみればー」

笹原宏之／著 中央公論新社 2017 年

漢字を楽しもう

 「漢字ハカセ、研究者になる」

笹原宏之／著 岩波書店 2022 年

 「漢字のサーカス」

馬場雄二／著 岩波書店 2002 年

 「五感で読む漢字」

張莉／著 文藝春秋 2012 年

 「学校では教えてくれないゆかいな漢字の話」

今野真二／著 河出書房新社 2021 年

 「明解!漢字名探偵—曖昧な漢字・読めない漢字・知らない漢字—」

山口謠司／著 さくら舎 2021 年

 「知ってるようで知らない漢字の読みかた」

ことば探偵団／著 幻冬舎コミックス 2006 年

 「日本人として身に付けたい漢字力」

日本漢字王検定研究会／編著 日本文芸社 2007 年

このリストに掲載している図書は、さいたま市立図書館で所蔵しています。貸出や予約（順番待ち）ができます。

さいたま市図書館ホームページ

<https://www.lib.city.saitama.jp/>

さいたま市立中央図書館 浦和区東高砂町11-1

TEL 048-871-2100 FAX 048-884-5500

